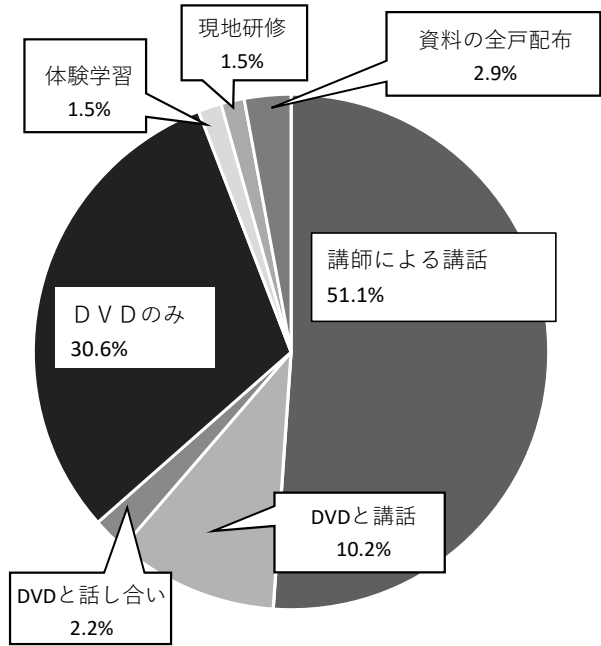


令和6年度(2024年度)自治会人権・同和問題学習会の実施結果について

(1)実施方法の内訳

	R6年度	R5年度	増減
講師による講話	70件	73件	-3件
DVDと講師による講話	14件	5件	+9件
DVDと話し合い	3件	5件	-2件
DVDのみ	42件	42件	0件
体験学習	2件	4件	-2件
現地研修	2件	2件	0件
資料の全戸配布	4件	5件	-1件
合計	137件	136件	+1件

集合
研修



R 学習会を実施された自治会

6 **70自治会** (71自治会中)

R
5 **70自治会**

集合研修を実施された自治会

69自治会 (延べ参加者 **4,142人**)

69自治会 (延べ参加者数**4,089人**)

(2)学習会のテーマ

	R6年度	R5年度	増減
同和問題	37回	24回	+13回
子ども	28回	37回	-9回
高齢者	19回	16回	+3回
認知症	13回	13回	0回
障害者	13回	16回	-3回
インターネット	20回	15回	+5回
女性・男女共同参画	13回	10回	+3回
ハラスメント	7回	2回	+5回
外国人	9回	2回	+7回
性的指向・性自認	6回	9回	-3回
患者	0回	0回	0回
まちづくり	7回	0回	+7回
人権全般・その他	38回	30回	+8回
合計	210回	174回	+36回

(3)年代別参加者

	R6年度	R5年度	増減
20代未満	87人	167人	-80人
20代	29人	23人	+6人
30代	184人	234人	-50人
40代	457人	502人	-45人
50代	634人	555人	+79人
60代	839人	847人	-8人
70代	1,100人	966人	+134人
80代以上	262人	254人	+8人
不明・未回答	550人	541人	+9人
合計	4,142人	4,089人	+53人

※1件の学習会で複数のテーマを設定されている場合があるため
学習会の件数とテーマの回数は一致しません。

学習会の事例紹介

堅苦しくなく、楽しんで！

事例 1：ボッチャ体験

- ・ゲーム感覚で楽しかった。
- ・年齢問わずみんなで楽しめた。

事例 2：手話歌コンサート

- ・楽しい学習会だった。
- ・聴こえない方も音楽を楽しめることを知った。

事例 3：現地研修

- ・「見て・聞いて」肌で感じることができた。

事例 4：人権落語・腹話術

- ・堅苦しくなく心に入ってきた。
- ・重く感じることなく理解できた。
- ・笑いから始まり、引き込まれた。

身近なテーマで！

事例 1：認知症・高齢者の人権について

- ・認知症サポーター養成講座は寸劇でよく理解できた。
- ・介護や認知症の方への接し方がよく分かった。

事例 2：子どもの人権について

- ・現役の園長先生、校長先生から話を聞き、学校園の取組の様子が分かった。
- ・子育てに活かせる内容だった。

事例 3：インターネットの人権について

- ・中学、高校生の親として、リスクの再確認ができた。
- ・インターネットとの付き合い方を考えるきっかけとなった。

集めるではなく、集まる機会に！

事例 1：おいもパーティー

事例 2：ミニサロン

事例 3：夏まつり

事例 4：文化祭

事例 5：敬老のつどい

事例 6：初寄り

事例 7：役員会

その他自治会行事と合同開催

- ・参加者は小学生から高齢者まで多岐にわたった。
- ・ほかの行事と重ねることで参加率が上がる。
- ・学習会をメインイベントの前に組み込むなど、参加者が自然と学習会に参加できる工夫をされた。
- ・子どもの参加もあり、違う雰囲気で開催できた。

同和問題をはじめとする人権課題をしっかりと学ぶ！

事例 1：人権教育啓発講師団講師

- ・同和問題を通して、差別の不合理について考えた。意見交換を行う中、すべての人が生きやすい社会の重要性が共有されたと感じた。
- ・同和問題の重大さが分かった。参加者皆さんも考えさせられたと思う。

事例 2：外部講師（滋賀県人権センター 他）

- ・具体的でわかりやすく参考になった。

事例 3：講師による講話と DVD の視聴

事例 4：DVD の視聴と話し合い

- ・受身の研修から参加型の研修への第一歩として進めた。



若い世代が参加しやすいようにするにはどうすればよいのだろう。

「子どもにもわかる人権」や「子どもの参加歓迎」などを開催案内に載せてはいかがでしょう。



DVD や講師をどうやって選べばよいのだろう。

内容や対象に応じて、人権政策課からご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。

